

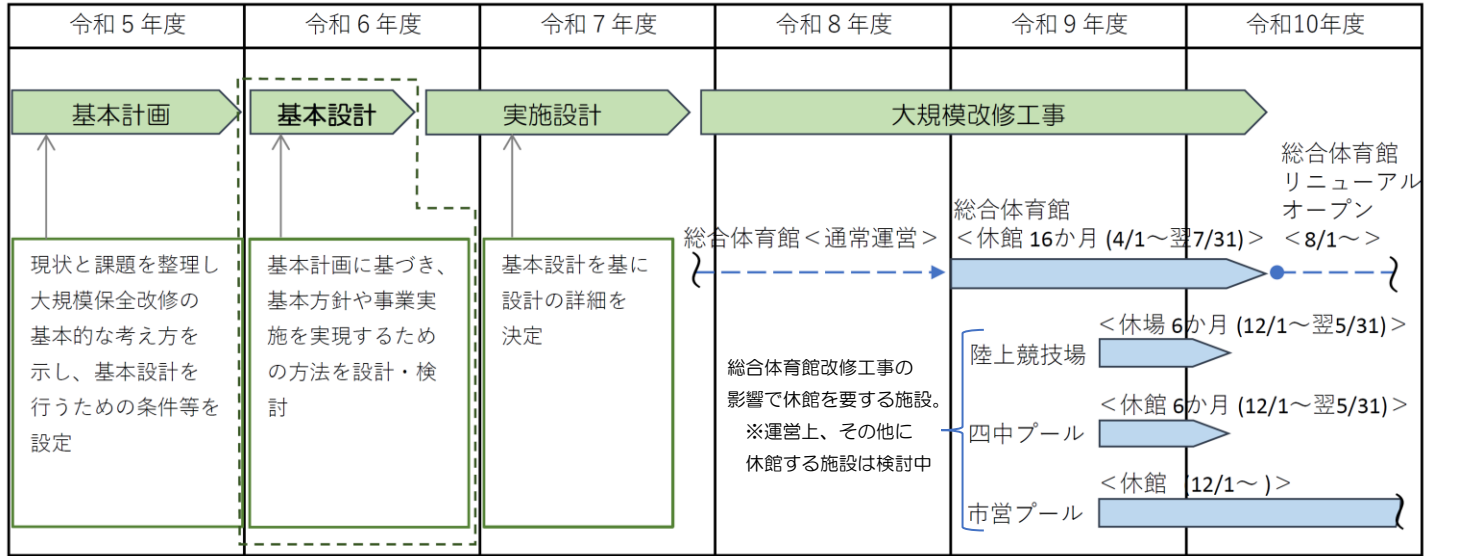
武蔵野総合体育館大規模改修基本設計書（概要版） 令和6年 12 月

■武蔵野総合体育館大規模改修の目的について

武蔵野総合体育館は、全市的な市民施設として平成元（1989）年に竣工し、市民スポーツの拠点として長年多くの方々に利用されてきました。竣工後も着実に改修を重ね、適宜機能向上を図ってきましたが、築 30 年以上が経過しており、経年による老朽化が進んだ給排水管、空調、昇降機、電気設備などを更新するため、長期休館を要する保全工事が必要な時期を迎えています。今後 30 年程度現在の施設を使用していくための劣化保全整備に加えて、改良保全整備や機能維持・向上工事を含めた大規模な保全改修を行うことにより、引き続き市民のスポーツ文化の発展に寄与していくことを目的としています。

■工事期間と休館について

契約工期は令和8年3月から令和 10 年5月まで。総合体育館の休館時期は、令和9年4月から令和 10 年 7 月までの 16 か月を予定しています。また、陸上競技場や市立第四中学校温水プール、市営武蔵野温水プールは、地下機械室改修工事に伴い令和9年 12 月から 6 か月間休館します（武蔵野温水プールは再開時期未定）。



■建物概要

竣工年月	平成元（1989）年8月 31 日		
敷地面積	56,669.47 ㎡		
建築面積	14,824.01 ㎡	※武蔵野陸上競技場・スタンド席を含む。	
延床面積	22,966.76 ㎡	※武蔵野陸上競技場・スタンド席を含む。	
階数	地上5階 地下1階 塔屋1階（構造 SRC、RC、S 造）		
用途	体育館		

■概算工事費

概算工事費：58.7 億円

ただし、業務委託費や備品類及び工事期間中の運営に関する費用は含んでいません。また、物価上昇等で概算費用の変更が生じる可能性もあり、実施設計時に改めて精査を行います。

■基本方針

1	『 劣化保全整備 』 耐用年数を超過した機器が多く、空調機が故障している部屋もあります。今回の改修で、建築当初の性能・機能を維持できるよう基本的な性能まで戻す改修を行います。また、競技用フローリングの改修や重要設備機器の更新など、一定期間の休館を要する工事は最優先で行い、リニューアル後は継続的な市民サービスを提供できる仕様へ改修します。 →裏面参照
2	『 改良保全整備 』 開館当時には無かった社会的要求の変化等に対応するための施設の機能向上を行うことが求められています。誰もが利用しやすい施設とするためのバリアフリー化は必須の課題となっており、また、武蔵野市環境配慮指針にあるように建設時の環境配慮も重要であります。これらの課題に積極的に取り組む改修を行います。 →裏面参照
3	『 機能維持・向上工事 』 大規模改修であることから、リニューアル後にはより使いやすい施設にしていく視点も重要です。明るくわかりやすい玄関ホールや新たなサインの設置、中央通り沿いの外構整備など関連する工事のパッケージ化をすることで効率化を図った改修を行います。 →裏面参照

■基本設計時に検討を行った事項（主要なもの）

	パブコメによる意見・要望事項	対応方針
①	<玄関ホール> 玄関ホールが暗い。また、受付が奥まっているため正面出入口から受付を判別し難い。	受付を玄関ホール側へせり出し、わかりやすい受付にするとともに、明るい玄関ホールとなるよう改修を行います。
②	<玄関ホール> デジタルサイネージが不足しており、イベント情報、利用状況や混雑状況がリアルタイムで発信できていない。	玄関ホールにデジタルサイネージを複数設ける方針としています。
③	<主競技場・選手控室> 選手控え席を更新する際にドリンクホルダーの設置を要望する。	ペットボトルでの利用が大半であり、ドリンクホルダーが必要となるカップ飲料も販売していないことから、選手控え席にドリンクホルダーは設置しない方針とします。
④	<副競技場観覧席> 段差が大きく柵もないため、小さい子供の安全確保に苦労している。席を設ける等の対策を要望する。	手すりを設け安全対策を講ずる改修を行います。
⑤	<柔剣道場> 剣道がしやすい床仕様の検討。ニスなどを塗らず、滑りやすい床仕様の要望する。	剣道に適した床となるよう改修を行います。
⑥	<弓道場> 暑さ、寒さ対策を要望する。	暑さ対策として天井扇の設置、寒さ対策として床暖房の設置を行います。
⑦	<野外活動センター> 野外活動センターが十分に役割を果たせるよう再整備してほしい。	2 階コミュニティラウンジに面した市民がアクセスしやすい位置に野外活動センターを移設します。また、コミュニティラウンジの一部を野外活動センターの展示スペースとして利用します。
⑧	<コミュニティラウンジ、図書コーナー等> 現状のように交流、休憩スペース設置を要望する。また、図書コーナーの活用方法を検討してほしい。	現状と同様、交流、休憩スペースを設けますが、コミュニティラウンジの一部は野外活動センターの展示スペースとなることから、図書コーナーを新たな交流、休憩スペースとして活用します。
⑨	<トイレ・更衣室> 和式トイレから洋式トイレへの更新、トイレ個数の検討、ユニバーサルデザインに配慮した改修を要望する。	洋式トイレへ更新すると共にレイアウト変更をし、ユニバーサルデザインに配慮したトイレ・更衣室へ改修します。
⑩	<エレベーター> わかりやすいEV かご内の表示、ストレッチャー対応への改修、エレベーターの増設を要望する。	誰でもわかりやすい表示、ストレッチャー対応のEVへ更新します。エレベーターの増設については、建物の構造上、増設できる場所がないため整備しないこととします。
⑪	<サイン計画> 館内案内表示が統一されておらずサインが不足している。また識別し難いサインが多い。また、外国籍市民へ配慮したサイン計画を要望する。	誘導サインや大きなピクトサインを用い、誰もがわかりやすいサイン計画を行います。
⑫	<休館期間> 休館期間の再検討を行い、なるべく短くしてほしい。	施工範囲が多岐に渡ることに加え、フローリングの全面交換、照明や設備配管交換に伴う天井の撤去復旧、地下の設備機器全面交換など時間と手間のかかる工事内容や、昨今の労働者不足を考慮し、16 か月間の休館が適正と考えます。

1 『劣化保全整備』

■建築の保全

- ・各競技室のフローリングは床下地を含め全面改修します。
- ・玄関ホールの床タイルをはじめ劣化した床材を張替えます。
- ・軽体操・ダンス室、柔剣道場、大会議室の使いにくくなった移動間仕切壁を交換します。

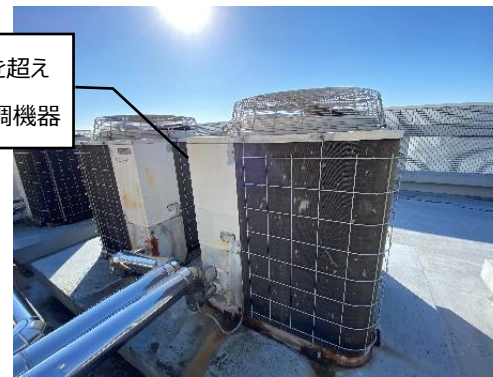
■機械設備の保全

- ・耐用年数を超えている機器類（空調機器・ポンプ等）について全面更新を行います。
- ・耐用年数を超えている給水・給湯・排水・通気・ガス・空調系の配管類について、全面更新を行います。
- ・ダクト類は、劣化は軽微であることから原則清掃のみとし、継続利用とします。

■電気設備の保全

- ・耐用年数を超えている受変電設備、非常用発電機等電気設備について全面更新を行います。

耐用年数を超え
腐食した空調機器



耐用年数を超えている
受変電設備



2 『改良保全整備』

■バリアフリー化の推進

- ・出入りの多い2階コミュニティデッキ出入口は自動ドアに交換し車椅子の方や子ども連れの方も使いやすいようにします。
- ・階段には片側に手摺がありますが、高齢者の方も使いやすいよう両側に手すりを設置します。
- ・点状ブロック・線状ブロックを適宜配置し視覚障害者にも配慮します。

■更衣室・トイレのアメニティ向上

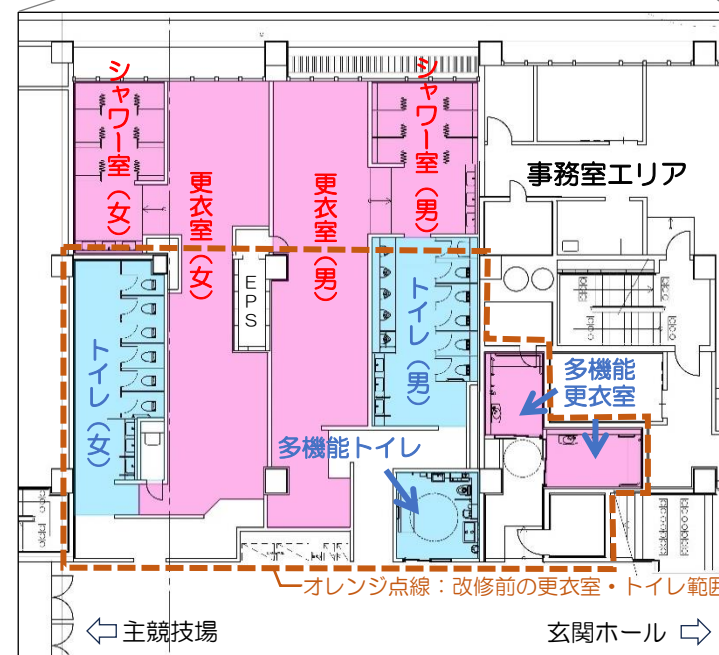
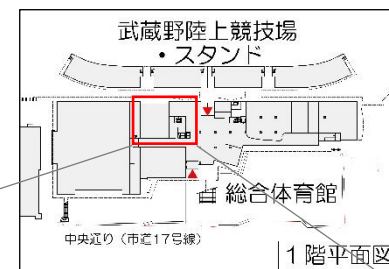
- ・手狭な1階のトイレ、更衣室は広げ、使いやすい施設にします。
- ・トイレの内装を全面的に改修し、明るく清潔感のあるトイレにリニューアルします。
- ・シャワー室の洗面器は、パウダールームとしても使いやすいカウンター形状のものとしします。
- ・1階幼児室近くには授乳室を設けて、子ども連れの方も気軽に立ち寄れる施設にします。

■安全性の向上

- ・段差のある部分には、手摺や明度差のあるノンスリップを設置します（3階ギャラリーなど）。

■環境への配慮

- ・クリーンセンターからのバイオマスエネルギー供給（蒸気、電気）を活用した設備方針を継続する。
- ・更新対象の空調機器は高効率型を採用します。
- ・更新対象の換気設備にはCO2制御を取り入れ省エネルギー性の向上を図ります。
- ・更新対象の衛生器具は節水型を採用します。
- ・更新対象の照明器具にはLED照明を採用するとともに、トイレ等は人感センサーを採用し省エネルギー化を図ります。



△改修後の1階主競技場側 更衣室・トイレのレイアウト

3 『機能維持・向上工事』

■明るくわかりやすい玄関ホール

- ・受付をいまよりも正面エントランス寄りに配置し、訪れた方がひと目でわかる施設にします。
- ・受付前には、申し込み時の待合せスペースを設けます。



■内装改修とサインのリニューアル

- ・壁は明るく清潔感のある色調に塗替えるとともに、照明器具は全て交換し明るい施設にします。

■広がりあるエントランスにリニューアル

- ・正面エントランス前は、成長した樹木を適正に剪定するとともに、クリーンセンター側横断歩道からもまっすぐにアクセスできるよう外構舗装範囲を拡張します。

